



示現会写生会



江の浦漁港

示現会春季研修写生会報告

2017年5月13日(土)14日(日)

今年の写生会のモチーフは「海」。写生会始まって以来、「江の浦」、「三津」、「網代」、「熱海」、「真鶴」、「犬吠岬」等々に足を伸ばしてきました。何処にしようか、結局漁港も山も描ける伊豆長岡に決定。温泉地でもあり、江の浦三津浜付近はあの梅原龍三郎の御用地みたいなもの、彼の絵で有名になっている写生地と聞いていました。皆さんにきっと満足していただけると確信して選定しました。

写生会初日、曇りなら漁港、晴れて富士が見えるなら展望台ときめていました。ところが、あいにくの雨。残念ながらホテルから新緑の温泉街を描くことに。それでも、漁師のテント小屋からずぶぬれになって漁港を写生した意欲満々の仲間もいました。大半は早めに宿に引き上げ温泉で一汗流して夜の懇親会に備えました。

夕方6時より安藤写生会系の司会で懇親会スタート。成田常務理事のご挨拶、「70周年記念展無事成功裏に終わったこと。特に、ご招待来賓が、懇親会会場の光景が盛大でかつ整然としていたと絶賛されたこと」等々参加者へのお礼を述べられました。

井上常務理事の乾杯で宴会スタート。盃をかわし歓談に花を咲かせ、総勢37名一人一人自己紹介で一次会は終了。二次会は席を変え、美術談義に時間のたつのを忘れ楽しいひと時を過ごしました

翌朝の研究会では、それぞれ雨の中で悪戦苦闘された様子が伺える作品を並べ成田、井上両常務理事よりご指導をいただきました。

二日目は曇り時々晴れ。展望台から、富士を背景に駿河湾と淡島の新緑を描きました。遠方からの参加者も、自然相手の野外スケッチ、1枚でも作品ができたのを良としなければと喜んで帰路につかれました。これに懲りず来年も参加されることを、研修係一同切望しています。

なお今回は安藤が写生会の班長を任され、先頭に立って行動することの大変さを身にしみて感じました。こまかい心配りができず、ただただ反省するばかりの二日間でしたが、これを教訓として今後頑張りたいと思います。参加者の皆様、担当理事、今後ともどうぞよろしくご指導をお願いいたします。

参加者 (39名)

役員：成田先生、井上先生、佐藤、渡邊

旅行係：安藤、石田、大川、栗又、中井



八景園ホテル玄関にて



挨拶をする成田先生



わきあいあいの懇親会



一人一人丁寧に作品を見ていただきました